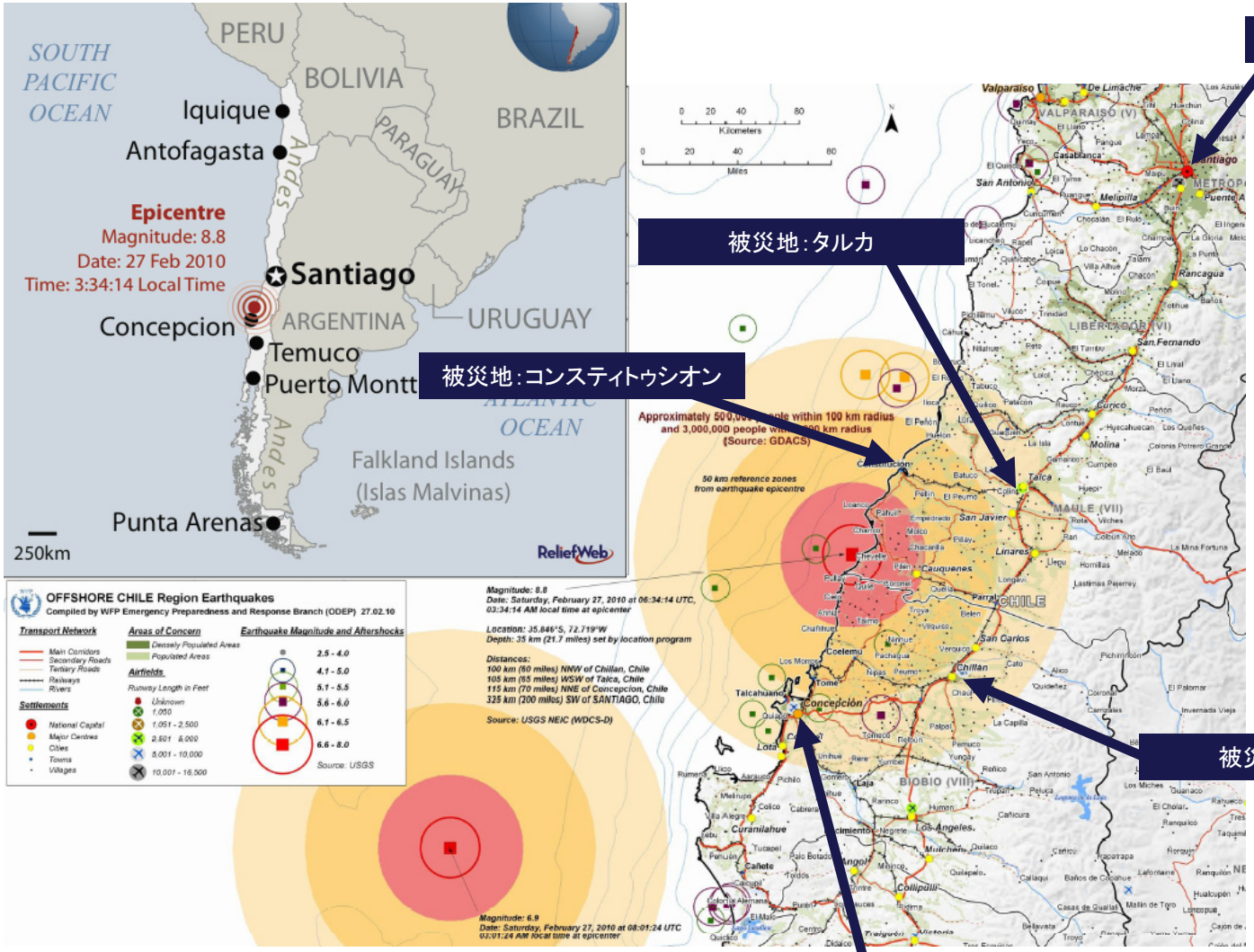
チリ地震

被災地訪問の報告（現地からの声）

2010年10月4～18日（地震発生7ヶ月後）

特定非営利活動法人ジャパン･プラットフォーム
info@japanplatform.org
Tel 03-5223-8891
Fax 03-3240-6090

訪問地（チリ地震被災者支援）



首都：サンティアゴ

被災地：タルカ

被災地：コンスティトゥシオン

被災地：チジャン

被災地：コンセプシオン

＜日程＞
JPF参加NGOのモニタリング：15ヶ所
チリ行政府：5ヶ所（知事、市長など）
チリのメディア：6社（地方テレビやラジオ）

現地からの声（チリ地震被災者支援）

JAPAN PLATFORM

「本当に、本当に、本当に、　ありがとう！」

Jose Pincheizeさん（50歳）と奥さん

ーーーICA文化事業協会による漁民支援で、

ボート修復プロジェクトの対象者

現地からの声（チリ地震被災者支援）

JAPAN PLATFORM

「支援を頂き、日本人の連帯感に感謝申し上げます。」

©JPF／ICA

Marcelo Alarconさん（被災地アラウーコの市長）

－－－ICAがアラウーコ市内でも漁民へボート修復プロジェクトを実施。

同市へ架かる橋の復旧に時間を要したため、チリ政府からの支援も滞りがちであった。

同市から大阪や沖縄へワカメやモズクを輸出しているなどの繋がりがあり、

日本政府から消防車や医療機器の支援も受けている。

現地からの声（チリ地震被災者支援）

JAPAN PLATFORM

「洗濯、乾燥が大変な冬期には、特に助かりました。
障がいのある入居者の服やシーツなどが沢山あるので、
今でも一日中、洗濯機を回しています。」

Ema Moyaさん（右側。障がい者施設のスタッフ）

ーーーICAによる障がい者支援で、洗濯機と乾燥機、車イスを活用。
この施設には57～74歳までの老人が26人入居していて、
チリ人ボランティアと一緒に運営している。

現地からの声（チリ地震被災者支援）

JAPAN PLATFORM

「日本からのご支援に、深い御礼を申し上げます。」

©JPF／ADRA

©JPF／ADRA

被災地ニューブレ地方の知事代理

ーーーADRA Japanが同地方で仮設住居のトイレ、ストーブの設置プロジェクトを実施中。

同地方のテレビとラジオの合同取材に答えて。取材後、ADRAとJPFに感謝状が贈呈された。

現地からの声（チリ地震被災者支援）

JAPAN PLATFORM

「新しい教室でもっと勉強して、
将来は看護婦さんになりたいです。」

Mariluzちゃん（9歳。4年生）

――― グッドネーバーズ・ジャパン（GNJP）による教育支援で、小学校の仮設教室を建設。
この村では90%以上の家屋が地震被害を受けたため、放課後もこの教室に残る子どもたちが多い。

現地からの声（チリ地震被災者支援）

JAPAN PLATFORM

「被災者により良い支援を届けるため、

一緒にアイデアを出し合ってプロジェクトを進めています。」

Julio Munoz Salazarさん（左から2番目。被災地ペムコの市長）

ーーーADRA Japanがペムコ市内でも仮設住居のトイレ、ストーブの設置プロジェクトを実施中。

市長とJPFとADRA、ICAが現場に同行し、JPF参加NGO間で学びの共有を行った。

同市は日本政府から歯科医師の巡回診療の資金支援も受けている。

現地からの声（チリ地震被災者支援）

「このストーブがなかったら、
子どもが病気になっていたかもしれません。
どうもありがとう！」

Familia Pereiraさん（後列中央。）
　　ーーーICAによる越冬支援で、ストーブを配布。
　　息子（8歳）ら一家で仮設住居での生活。

被災者の表情（チリ地震被災者支援）

被災者の表情（チリ地震被災者支援）

被災者の表情（チリ地震被災者支援）

被災者の表情（チリ地震被災者支援）

被災者の表情（チリ地震被災者支援）